

79期 11月 重大事故 4件

作成日：2023年12月9日
安全品質環境推進部 統括グループ

再発防止対策欄/青地...対策完了 赤字...対策予定、継続中

区分	事故受付№	事故発生日	発生日	発生時間	地区名	営業所名	氏名	職種	年齢	勤続	損害程度 ・品名	休業見込 (実休業)	荷主・相手方		事故内容	
													名称	本・支店、工場		
1	重大	J7900326	2023/11/13	月	午後 16:50	中四国		作業	47	2ヶ月	左第四指(薬指)骨折	30日 (見込)			労	倉庫3階でピッキング作業中、在庫商品を補充するためケース商品を棚上から踏み台を使い降ろす際、踏み台位置が商品とずれており、また、重量物がサイズも大きく、バランスを崩し商品を落下させた。その際、左手薬指を商品及び棚に引っ掛け骨折した。
	確認日	2023/12/12	水	確認者 (安全)	発生要因	<ul style="list-style-type: none"> ■ 踏み台の設置位置及び高さが不適当だった。 ■ 雇入れ2ヶ月で経験が浅く、作業の体勢や踏み台等の使用方法など、安全面の習熟が十分でなかった。 ■ 上記安全面での作業手順書がなく、管理・教育が十分でなかった。 ■ 作業時、当該ロケでは当人のみでの作業となり、他作業者がフォローできず、また当人もフォローをお願いできなかった。 	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> □ 十分な高さのある脚立(3段→4段)へ順次差替えを行う。⇒11月30日予定 →切替えまでは適任者を定めその作業者に限定させる □ 作業方法に関する手順書を作成し、周知・教育を行う。⇒11月30日予定 □ 社員・パートリーダー等頭に見回りを強化し、協力しやすい環境を整備する。⇒11月30日予定 								
2	重大	J7900333	2023/11/20	月	午前 10:20	中部		乗務	64	13年 7ヶ月	左足首骨折、左太もも打撲	60日 (見込)			労	4トン車2台口で搬入のうち、1台を同僚の運転手と共同で荷卸し作業に入った。鉄骨(梁、プレス)の山の2段目に配されたプレスをレックで吊上げるために、プレスの両サイドに配置された梁を片側(リン木の端部の方へ)に寄せた(手で移動した)。寄せた梁は1段目の製品より外側の位置になっており被災者はその真横に立っていた。3 3 3運動が出来ないまま吊り上げた際、リン木が1段目の梁を支点にリン木の端部が持ち上がり、2段目で寄せた梁が被災者側に崩れてきて、梁と被災者は荷台から地面に落下、その際、梁が左太ももと左足首に落下し被災した。
	確認日	2023/12/5	火	確認者 (安全)	発生要因	<ul style="list-style-type: none"> ■ 荷卸し順が決まっておらずルーティン作業が定まっていなかった。 ■ 乗務員の経験からプレスを先におろすと補助者と梁を片側に寄せたが、その位置が下段の梁より外に配置し天秤になって落下が予測できなかった。 ■ 大和ハウスの工事担当者不在、建て方はオペレーターのみ、朝礼も開催されず作業順番の指示や危険予知確認がされなかった。 	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3-3-3運動の必要性を事故事例に基づき、再教育する。 ⇒ 乗務員教育を個別に実施(12/15まで) ■ 現場荷卸作業手順書の改定、鉄骨製品の並び替え移動時の注意事項を追加。災害事例を追加。玉掛作業時の3-3-3運動手順を追加。手順書の再教育を実施する。 ⇒ 乗務員教育を個別に実施(12/15まで) ■ 現場パトロール時に荷卸し荷姿確認。玉掛作業時の3-3-3運動実施状況の確認と災害が起こらないよう再指導する。 ⇒ 乗務員教育を個別に実施(12/15まで) 								
3	重大	J7900340	2023/11/20	月	午前 12:00	関西		乗務	57	38年	分電盤上部(屋根部分)の凹み (損害金1,000,000円)				貨	分電盤と外壁材を混載(荷卸し先は別)し、最初の荷卸し場所で外壁材を荷卸したが、卸し場所の微調整のためユニックを操作した際ブームの根本部分が荷台にあった分電盤の上部に接触し上部(屋根部分)が凹んだ。
	確認日	2023/12/4	月	確認者 (安全)	発生要因	<ul style="list-style-type: none"> ■ 他の商材と混載したが荷卸し順やユニック操作方法が考慮できていなかった ■ 分電盤の特性(高さや奥行き、重さ)に応じた積み位置のパターンが検討できていなかった 	再発防止対策	<p>下記内容を2023/12/13より実施、継続中</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 緩衝材を使用し最前部の積込を回避 □ 荷卸し時に指差しにて安全確認を実施 □ 同一荷主にて複数箇所卸しの場合、1件目完了時に指差しにて異常がないか確認 □ 他の商材(荷主)との積み合わせ(混載)はしない □ 様々な大きさの分電盤の積み位置、積み方、養生、捕縛、荷卸しの各方法をパターンを定め明示する □ 同じ商材の納入先が2ヶ所以上の場合もあり、その際の積み方、荷卸し順、ユニック操作と注意点を明確にする 								
4	重大	J7900348	2023/11/23	木	午前 10:30	北関東		作業	58	15年 7ヶ月	右膝十字靭帯損傷 半月板骨折	60日	-	-	労	自社倉庫で書類棚(引出しには書類が入ったまま重い状態)を二人で移動させようとしたが作業者間の呼吸が合わず、棚が前傾したため倒れないように一人が踏ん張った際に右膝をねじる体勢になり負傷した。
	確認日	2023/12/4	月	確認者 (安全)	発生要因	<ul style="list-style-type: none"> ■ 非正常作業に対しての事前打ち合わせや確認ができていなかった ■ 休日の作業時、作業場に管理者が不在だった ■ 作業場の管理者は今回の発生状況を把握していたが上長への報告、対応が遅れた ■ 11/24(金)に休むことになったが、その原因確認ができていなかった ■ 11/27(月)当人から個人的な要因で長期に休むとの連絡に対し詳細確認されていなかった 	再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> □ 非正常作業の場合、事前に作業内容を確認し手順を明確に指示する ⇒ 次回より実施 □ 安全具(特に安全靴)は交換分が届いたら直ちに交換するよう指導する ⇒ 2023/12/19予定 □ 負担がかからないようにドローカーの使用や一人当たりの荷重が小さくなるように持ち手人数を事前に確認する ⇒ 次回より実施 □ 安全管理者は作業者が負傷などで休む(長短問わず)場合、労災事象の可能性がないか事情確認する ⇒ 次回より実施 								